

コナミ・デジQトレインに初の旧国登場!

DigiQTRAIN™
デジQトレイン™

魅惑の80系電車

text:RMM/photo:羽田 洋 取材協力:コナミ株式会社



©2003 KONAMI

ここは往年の飯田線...? ずらりと並んだ80系が今日の仕業に備えて待機中。

国鉄時代の渋いラインナップが魅力のコナミ・デジQトレインに初の旧国、80系電車が加わった。一世を風靡した「湘南顔」をはじめ、古豪の魅力をどのように再現しているか、さっそくチェック!

言わずと知れた湘南電車こと80系電車。それまでの電車の常識を覆し、客車並みの車内設備と乗り心地で長距離電車列車の足掛かりを作った名車。オレンジパーミロンとグリーンの色も鮮やかに東海道を走ったのは1950(昭和25)年のことだ。それから半世紀以上がたち、新時代の鉄道トイ、デジQトレインに80系電車が甦った。

プロトタイプとなったのは300番代、一般に全金車とも呼ばれる80系の最終増備型で、ノーシルノーヘッダーの側面、プレスドア、Hゴム支持の前面窓などの近代的外観を備えている。準急 東海 比叡 として東海道本線全線をカバーする長距離運用をこなし、来るべき電車全盛時代への道を切り開いた。

旧型国電の到達点と言えるこの車輛、つまりは旧国ならではの重厚さと、後に続く高性能電車の出現を予感させるような軽快さが混在した独自の印象が持ち味。製品化にあたってこの味を出すのはなかなか難しい作業だと思われるが、ご覧の通り、的確なデフォルメと凝ったディテール表現で80系全金車がデジQトレ

インとしてデビューした。

個々のディテールは写真をご覧くださいとして、抑えた色合いの車体色にも御注目いただきたいところ。現在まで継承されている「湘南色」だが、単に現在の色をそのまま反映させればいいというものではない。時代による色味の変化もあるし、なによりその車輛のイメージに合致したカラーリングとするのには、高いセンスが要求されるところだ。この点、今回の80系の色はこの古豪のイメージにふさわしい、軽快な中にも風格を感じさせるものに仕上がっていると思われるがいかがだろうか。

東海道を駆け抜けた全盛期を再現するもよし、飯田線で黙々と働いた晩年をイメージするもよし...。デジQトレインの80系電車は失われた時を眼前に甦らせてくれる。発売は12月25日を予定している。



屋上ディテールの立体感もデジQトレインの魅力だ。



連結面のディテール表現もめめかりない。



300番代の全金属車をプロトタイプとするデジQトレインの80系。価格は3,800円(税別)。

デジQトレイン入門に最適 運転セットDX登場

気になるデジQトレイン、ひとつやってみようか...という方に最適なのがデジQトレイン運転セットDX。電動ポイントレール2基を含む各種レールがセットされており、さまざまなレイアウトを組んで思いっきり運転を楽しめる。島式ホームが含まれているのも嬉しい。車輛は新幹線300系が含まれているが、小さな駅に停車してもサマになる新幹線として上手い選択という感じ。単品で買い揃えると、15,000円ほどになるが「運転セットDX」の価格は9,800円(税別)。大好評発売中である。



JR東JR西日本海承認済

あきはばら鉄道模型フェアでデジQトレイン大人気!

去る11月21日(金)より4日間、秋葉原LaOXホビー館&アソビットシティで行われた第2回あきはばら鉄道模型フェアは大盛況の内に終了。デジQトレインのブースでは80系電車のデモ走行をはじめ、運転セットDXの先行販売や体験会など盛り沢山の内容で人気を集めていた。



体験コーナーではあらためてデジQトレインの運転の面白さに感じ入っていた来場者も多かった模様。

ケータイでデジQトレインがコントロール可能「マイクロiRケータイリモコン」データ配信中!

デジQトレインを携帯電話でコントロールできるMICROiRケータイリモコンが登場。赤外線リモコン機能を持つ505iシリーズの端末にデータをダウンロードすればデジQトレインの操作が可能になるだけでなく、臨場感たっぷりの効果音や振動でよりリアルな操作感が楽しめるという。詳しい内容は下記コナミネットHPへ!



http://www.konami.net/i-mode/dx/i-appli_microir.html